

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年5月6日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年5月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【4号機建屋カバー天井クレーンが動作しない件について】 協力企業作業員が、4号機建屋カバー天井クレーンの使用前点検の際、クレーンの走行および横行が動作しないことを確認。 なお、警報の発生もなく、主巻・補巻の巻上・巻下動作に異常なしを確認。 当該クレーンは荷を吊っておらず、通常通りのサイドブレーキの実施および電源OFFにて停留位置に停止中。 今後、動作しないことの原因調査を行い、対応方法の検討を実施。</p>	GⅢ	4月28日
2	<p>【建屋内淡水化装置の配管トラフの不具合について】 当社社員が、3月16日に発生した地震後の建屋内淡水化装置の配管用鋼製トラフ(※1)の天板開放点検において、地盤沈下の影響によりプロセス主建屋近傍のトラフ内部のコーキング(※2)が剥がれ、トラフ間の接合部に隙間が生じていることを確認。 なお、当該箇所の建屋内淡水化装置の配管に損傷および漏えいなしを確認。 今後、当該装置のトラフの不具合状況を調査すると共に、補修方法の検討を実施。</p> <p>※1 トラフ：地中や地表配管に施設されたケーブルや配管等を保護・格納するために用いるU字型の溝やボックス ※2 コーキング：防水などを目的とした継ぎ目や隙間を埋める密閉性・防水性を向上させるための材料</p>	GⅢ	4月20日